

全般季節予報支援資料 1か月予報 2014年1月24日

予報期間：1月25日～2月24日 気象庁地球環境・海洋部

全般季節予報

(1) 特に注意を要する事項

北・東・西日本では、期間の前半は、気温の変動が大きい見込みです。また、北日本では、2週目を中心に、気温がかなり低くなる可能性があります。

(2) 出現の可能性が最も大きい天候

北日本日本海側では、平年に比べ曇りや雪の日が多いでしょう。東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込みです。北日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

(3) 確率

1か月	気温(%)	1か月	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
	低並高		少並多	少並多	少並多
北日本	30:40:30	北日本日本海側	20:40:40	40:40:20	20:40:40
		北日本太平洋側	40:30:30	20:40:40	
東日本	20:40:40	東日本日本海側	30:30:40	40:30:30	40:30:30
		東日本太平洋側	40:30:30	30:30:40	
西日本	20:40:40	西日本日本海側	30:30:40	30:40:30	40:30:30
		西日本太平洋側	40:30:30	30:30:40	
沖縄・奄美	20:40:40	沖縄・奄美	40:40:20	20:40:40	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3～4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	20:30:50	60:30:10	30:40:30
東日本	10:20:70	40:40:20	30:30:40
西日本	10:10:80	40:40:20	30:30:40
沖縄・奄美	10:40:50	30:40:30	30:30:40

最近1週間の天候経過

最近1週間(1/18～1/23)は、シベリア高気圧が日本付近に張り出し、全国的に寒気が流れ込んだ。西高東低の冬型の気圧配置が強まったり、20日頃に低気圧が日本海を通過するなどしたため、日本海側の一部では曇りや雪または雨の日が多かった。太平洋側は高気圧に覆われ晴れる日が多く、沖縄・奄美は曇りや雨の日が少なかった。日本海側の降雪量は、北日本日本海側で平年並、東・西日本太平洋側では平年より少なかった。

予報資料の解釈

● 1か月 (1/25~2/21)

- 500hPa 高度は、ユーラシア内陸部から北米西部にかけてゾーナルに正偏差で、日本付近も正偏差。一方、東シベリアは負偏差。日本付近は暖かい空気に覆われやすいが、北日本中心に寒気が入る時期もある予想。

● 1週目 (1/25~1/31)

- 500hPa 高度は、ユーラシア内陸部や日本東方で明瞭な正偏差で、本州付近も正偏差。沖縄・奄美はゼロ付近。東シベリアに明瞭な負偏差がある。
- 海面気圧は、アリューシャン低気圧が弱い予想。日本付近では西高東低の冬型の気圧配置が弱い。シベリア高気圧は中心部分では弱いが、日本付近ではやや強い。日本海側を中心に、気圧の谷の影響を受ける時期がある。
- 下層気温は、本州は明瞭な正偏差、北海道は弱い正偏差、沖縄・奄美はゼロ付近。
- 週間予報資料によれば、気温は全国的に平年並か平年より高く、期間のはじめと終わりはかなり高くなる所もある。北日本と、東・西日本日本海側は、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多い。東・西日本太平洋側および沖縄・奄美は、高気圧に覆われて晴れる日が多いが、期間の前半は気圧の谷の影響で雲が広がりやすい。

▶ 想定される天候

- 北・東日本日本海側では、寒気（冬型の気圧配置）や気圧の谷の影響で、平年と同様に曇りや雪の日が多い。
- 西日本日本海側では、寒気の影響が平年より弱めで、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ない。
- 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い
- 沖縄・奄美は、高気圧に覆われる時期もあり、平年に比べ曇りや雨の日が少ない。

● 2週目 (2/1~2/7)

- 500hPa 高度は、1週目に東シベリアにあった明瞭な負偏差が、中国東北区付近に南下してくる。北日本でも明瞭な負偏差、東・西日本では弱い負偏差となる。沖縄・奄美は弱い正偏差。
- アリューシャン低気圧は平年よりも北日本に近い位置で強い。シベリア高気圧はやや強い程度。
- 下層気温は、北日本で明瞭な負偏差、東・西日本は弱い負偏差、沖縄・奄美はゼロ付近。
- 北日本は寒気や気圧の谷の影響を受けやすい。東・西日本は冬型の気圧配置で寒気の影響を受けやすい。沖縄・奄美は、寒気の影響は平年程度。

▶ 想定される天候

- 北・東・西日本日本海側では、寒気や気圧の谷の影響により、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多い。
- 北・東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多い。
- 沖縄・奄美は、高気圧に覆われる時期もあり、平年に比べ曇りや雨の日が少ない。

● 3~4週目 (2/8~2/21)

- MJO の対流活発位相が東進し、1週目中頃にはインド洋南部に、2週目中頃には西部太平洋熱帯域にも到達し、以降、これらの海域では対流活発が続く予想。一方、海洋大陸付近では、1週目から対流不活発が続く予想。
- 上記の地域、とりわけ、1週目から対流不活発が続く海洋大陸付近や、1週目中頃から対流活発が続くインド洋南部は、それぞれ海面水温の負偏差、正偏差（初期値固定）の影響を受けているとみる。
- 海洋大陸付近の対流不活発に対応し、3~4週目は亜熱帯ジェットが中国付近で南に蛇行、日本付近で北に蛇行する予想。4週目には、インド洋南部の対流活発がインド付近で亜熱帯ジェットを北に蛇行させ、中国付近での南への蛇行、日本付近での北への蛇行に寄与している。

- ・ 500hPa 高度は、日本付近では明瞭な正偏差となっており、高偏差確率にも現われている。しかし、前述のとおり、亜熱帯ジェットの蛇行は海洋大陸付近やインド洋南部での海面水温偏差（初期値固定）が影響しており、日本付近の 500hPa 高度の明瞭な正偏差も大幅に割り引く。
- ・ 下層気温は、北日本でやや明瞭な正偏差、東・西日本、沖縄・奄美で明瞭な正偏差だが、大幅に割り引く。天候は、全国、平年と同様を見込む。

➤ **想定される天候**

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 北日本日本海側では、寒気や気圧の谷の影響により、平年と同様に曇りや雪の日が多い。・ 東・西日本日本海側では、寒気の影響により、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い。・ 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い。・ 沖縄・奄美では、寒気や気圧の谷の影響により、平年と同様に曇りや雨の日が多い。 |
|--|

気象庁ホームページ

○季節予報

http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/001_00.html

○「向こう1か月の天候の見通し（1か月予報の解説）」

<http://www.jma.go.jp/jp/longfcst/pdf/pdf1/001.pdf>

も参照してください。

この資料は、気象事業者等が気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。